

reversible life

万物は同じ空気の息吹を分かち合っている。

人間も、動物も、植物も。

風に運ばれるあたたかさ、つめたさ、水溜を吹き飛ばすやさしい響き、甘い香り。

みんなが忘れかけている大切なこと。

ほんの些細なことを、建築も共有できないか考えてみる。

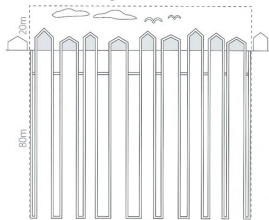
空気が建築の中を循環すること。

やがて人々は大切なことを思い出し、新たな生活を営んでいく。

人間も、動物も、植物も、建築もすべてが同じものを共有した等価な存在となり、

建築はよりどころとなって、この街に根付いていく。

1. Whole Image / Section



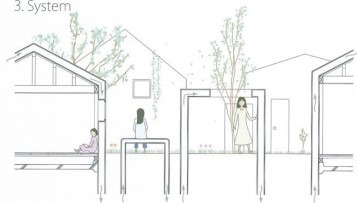
この断面図は、建物全体の断面を示しています。720mの高さと800mの幅を持つ構造が示されています。

2. Whole Image / Block Plan



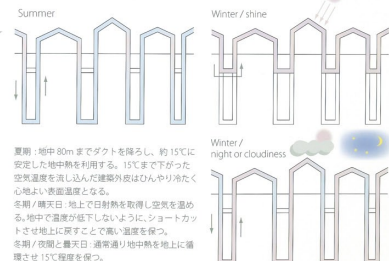
この街区図は、街区全体の平面図を示しています。建物の配置や道路の配置が示されています。

3. System



建物に寄り添うだけ、イスに腰掛けるだけ。そんな何気ないことだけで、いつもの生活が快適になっていく。それは、外にいても内にいるような感覚となり、やがて内と外との境界が曖昧になっていく。扉は窓の風と通し、隣の家との境界は薄れてゆく。家と家には新しい関係性が生まれてくる。すべてが等価になった世界の中で、人々は思い思いの場所で暮らす。

4. System Operating Mode



夏期：街中 80m までダクトを降ろし、約 15℃ に安定した地中熱を利用する。15℃ まで下がった空気温度を流し込んだ建蔽外皮はひんやり冷たく心地よい表面温度となる。
 冬期 / 晴天：地上で日射熱を取得し空気を温める。地中で温度が低下しないように、ショートカットで地上に空気を戻すことで高い温度を確保。
 冬期 / 夜間 / 曇天日：通常通り地中熱を地上に循環させ 15℃ 程度を確保。

